

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【公開番号】特開2006-117662(P2006-117662A)

【公開日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【年通号数】公開・登録公報2006-018

【出願番号】特願2005-295271(P2005-295271)

【国際特許分類】

**A 6 1 K 31/351 (2006.01)**  
**C 0 7 D 309/32 (2006.01)**  
**A 6 1 K 8/49 (2006.01)**  
**A 6 1 Q 19/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 39/06 (2006.01)**  
**A 6 1 P 31/04 (2006.01)**  
**A 6 1 P 37/02 (2006.01)**  
**A 6 1 P 29/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 37/08 (2006.01)**  
**A 6 1 P 3/10 (2006.01)**  
**A 6 1 P 31/12 (2006.01)**  
**A 6 1 P 3/06 (2006.01)**  
**A 6 1 P 19/04 (2006.01)**  
**A 6 1 P 13/12 (2006.01)**  
**A 6 1 P 25/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 37/06 (2006.01)**  
**A 6 1 P 17/16 (2006.01)**  
**A 2 3 L 1/30 (2006.01)**  
**C 1 2 N 9/99 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 31/351  
 C 0 7 D 309/32  
 A 6 1 K 8/49  
 A 6 1 Q 19/00  
 A 6 1 P 43/00 1 0 5  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 39/06  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1  
 A 6 1 P 43/00 1 1 2  
 A 6 1 P 31/04  
 A 6 1 P 37/02  
 A 6 1 P 29/00  
 A 6 1 P 37/08  
 A 6 1 P 29/00 1 0 1  
 A 6 1 P 3/10  
 A 6 1 P 31/12  
 A 6 1 P 3/06  
 A 6 1 P 19/04  
 A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 17/16

A 2 3 L 1/30

Z

C 1 2 N 9/99

## 【手続補正書】

【提出日】平成18年4月18日(2006.4.18)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

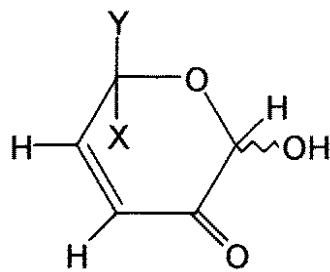
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

3, 6 - アンヒドロガラクトースおよび/または還元末端に3, 6 - アンヒドロガラクトースを有する化合物を中性からアルカリの条件下で処理することを特徴とする下記式(I) :

【化1】



( I )

(式中、XおよびYは、HまたはCH<sub>2</sub>OH、ただし、XがCH<sub>2</sub>OHのとき、YはH、XがHのとき、YはCH<sub>2</sub>OHである)

で表される化合物の製造方法。

【請求項2】

3, 6 - アンヒドロガラクトースおよび/または還元末端に3, 6 - アンヒドロガラクトースを有する化合物が、3, 6 - アンヒドロガラクトース含有物の酸性下での加水分解または酵素分解により得られるものである請求項1記載の製造方法。

【請求項3】

還元末端に3, 6 - アンヒドロガラクトースを有する化合物が、アガロビオース、 $\alpha$ -カラビオースならびに還元末端に3, 6 - アンヒドロガラクトースを有する、アガロビオースおよび $\alpha$ -カラビオース以外の化合物から選択される少なくとも1つ以上の化合物である請求項2記載の製造方法。

【請求項4】

3, 6 - アンヒドロガラクトース含有物が、寒天、アガロースおよび/またはカラゲナンである請求項2記載の製造方法。

【請求項5】

請求項1記載の式(I)で表される化合物及びその塩から選択される化合物を有効成分として含有するアポトーシス誘発を要する疾患、がん性疾患、活性酸素産生抑制を要する疾患、一酸化窒素産生抑制を要する疾患、プロスタグランジン合成抑制を要する疾患、滑膜細胞増殖抑制を要する疾患、熱ショックタンパク産生誘導を要する疾患、または $\alpha$ -グリコシダーゼ阻害を要する疾患の治療剤または予防剤。

【請求項6】

請求項 1 記載の式 ( I ) で表される化合物及びその塩から選択される化合物を含有、希釈および / または添加してなる食品または飲料。

【請求項 7】

アポトーシス誘発用、制がん用、活性酸素産生抑制用、一酸化窒素産生抑制用、プロスタグランジン合成抑制用、滑膜細胞増殖抑制用、熱ショックタンパク産生誘導用、又は - グリコシダーゼ阻害用である請求項 6 記載の食品又は飲料。

【請求項 8】

請求項 1 記載の式 ( I ) で表される化合物及びその塩から選択される化合物を有効成分として含有することを特徴とする抗酸化剤。

【請求項 9】

抗酸化剤が、活性酸素産生抑制剤である請求項 8に記載の抗酸化剤。

【請求項 10】

請求項 1 記載の式 ( I ) で表される化合物及びその塩から選択される化合物を有効成分として含有する鮮度保持剤。

【請求項 11】

請求項 1 記載の式 ( I ) で表される化合物及びその塩から選択される化合物を有効成分として含有する化粧品。

【請求項 12】

請求項 1 記載の式 ( I ) で表される化合物及びその塩から選択される化合物を有効成分として含有する - グリコシダーゼ阻害剤。